

令和8年第5回日南町議会定例会

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員氏名	付託委員会
第2号	令和8年 5月1日	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求め る意見書の提出を求める請願	別紙写し のとおり	新日本婦人の会鳥取県本部 鳥取県鳥取市西品治 510-7 会長 岡本 裕子	岡本 健三 荒金 敏江	総務教育常任委員会

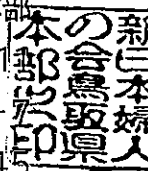


日南町議会 議長  
山本芳昭 様

2026年 5月 / 日

請願者

新日本婦人の会鳥取県本部  
680-081  
鳥取市西品治510-  
Tel0857-21-4445



紹介議員 岡本健三 (岡本) 岡本裕子 (岡本) 栗本敏江 (栗本)

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出を求める請願

【請願趣旨】

女性差別撤廃条約選択議定書は、条約の実効性を強化するために個人通報制度と調査制度を定めたもので、1999年に国連で採択されました。2025年9月現在、条約締約国189カ国中116カ国が選択議定書を批准しています。世界各国の男女平等の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数2025」(同年6月、世界経済フォーラム発表)において、日本は148カ国中118位と世界最低のレベルです。

選択議定書の批准により女性差別撤廃条約の示す男女平等の実現を促進することが、日本の現状打開のために急務となっています。早期批准を求める意見書は400地方議会(2025年12月)で採択されています。

女性差別撤廃委員会における日本の条約実施報告の審議では、2003年、2009年、2016年、2024年とも選択議定書の批准が奨励され、日本が批准を検討するよう繰り返し求められています。この間の男女共同参画基本計画では、「女子差別撤廃条約を積極的に遵守し」「女子差別撤廃条約の選択議定書については、早期締結について真剣な検討を進める」としています。政府は計画にのっとり、すみやかに選択議定書を批准すべきです。国際的にも遅れた男女間格差、とりわけ労働分野における賃金差別や雇用形態における差別など男女格差が一向に改善されないのは、選択議定書の批准によって差別の実態の個人通報ができず、国際的な調査ができないことが大きな要因になっています。国連の女性差別撤廃委員会から勧告を受けてから20数年が経過しました。「検討中」ということはもはや言えません。

以上の理由から、意見書の採択を求めます。

【請願事項】

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出を求めます

## 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書(案)

女性差別撤廃条約選択議定書は、条約の実効性を強化するために個人通報制度と調査制度を定めたもので、1999年に国連で採択され、2025年9月現在、条約締約国189カ国中116カ国が選択議定書を批准している。世界各国の男女平等の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数2025」(同年6月、世界経済フォーラム発表)において、日本は148カ国中118位と世界最低のレベルになっている。

選択議定書の批准により女性差別撤廃条約の示す男女平等の実現を促進することが、日本の現状打開のために急務であると考えます。

女性差別撤廃委員会における日本の条約実施報告の審議では、2003年、2009年、2016年、2024年とも選択議定書の批准が奨励され、日本が批准を検討するよう繰り返し求められている。

この間の男女共同参画基本計画では、「女性差別撤廃条約を積極的に遵守し」「女性差別撤廃条約の選択議定書については、早期締結について真剣な検討を進める」とある。政府は計画にのっとり、すみやかに選択議定書を批准すべきである。

本議会は女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める

令和8年 月 日

衆議院議長 森 英介殿

参議院議長 関口昌一殿

内閣府特命担当大臣 黄川田仁志殿

外務大臣 茂木敏充殿